

観察会報告

船越堤公園での夜の昆虫観察会

横山謙二

私は、昨年行いました「小鹿の森公園での、秋の鳴く虫を聞く会」に参加して、夜の虫に興味を持ち、その後も毎晩のように、静岡市内の公園で夜の観察会を一人で行っていました。その中でも船越堤公園は、鳴く虫や樹液に集まる甲虫やゴミムシの仲間など、多くの昆虫が見られることがわかり、日没後に通うようになり、一人で楽しんでいました。この楽しい観察会をみなさんにも体験してもらうため、今年は鳴く虫とその他の夜に活動する昆虫の観察会もかねて、船越堤公園にて行いました。

9月25日の観察会は、大人14名、子供3名の参加で、午後6:00時に集合し、開始しました。講師は、杉本 武先生です。コースは、公園の南から北にかけて、鳴く虫をさがしながら、いくつかのクヌギの木をめぐるコースです。

集合し、まもなく日が沈むと同時に、多くの虫の声が聞こえてきました。まずは、童謡「虫の声」でおなじみのマツムシの「チンチロ チンチロ チンチロリン」声近くから聞こえてきました。鳴いている姿は、一人の時は、ほとんど見つけ出すことができないのですが、杉本先生はすぐに見つけてくれます。虫の声をたよりに、歩くと、場所によってスズムシの多いところやカンタンがいるところがあります。また、昼間とくらべ、夜はツツレサセコオロギやエンマコロギなどが多く徘徊し、ところどころで姿を見せてくれます。この観察会では、他にスズムシ、クマスズ、カンタン、クツフムシ、モリオカメコオロギなどの鳴く虫を観察することができ、スズムシなどは鳴いているところも見ることができました。

一方、クヌギの木では、暗い木をライトで照らすと、コクワガタがところどころに、集まっている様子が見られ、参加した子供たちは、われ先にと採集を試みていました。コクワガタでも、昼間ではこんなに、集まる様子は見られないので、大人も楽しそうでした。



杉本先生の解説を聞く



コクワガタ♂

これらのクヌギの木では昨年の9月には、ノコギリクワガタ♂やカブトムシ♀も、たびたび見ることができたのですが、残念ながらこの観察会では見れませんでした。

その他、クヌギの木ではフクラスズメやカキバトモエなどの蛾の仲間やハラビロカマキリも見ることができました。中には、歓迎されないゲジゲジやクロゴキブリなども多く見られました。

今回の観察会では、鳴く虫や甲虫の仲間など多くの夜活動する昆虫が観察でき、非常に楽しい観察会でした。今回はあまり見れなかったが、朽木を探すとユミアシゴミムシダマシ（ユミアシオオゴミムシダマシ）などのゴミムシダマシ科の昆虫や、落葉周辺には、ゴモクムシの仲間などのゴミムシ科の昆虫も多く見ることができ、来年もぜひまた、この観察会を行いたいと思います。